

貸借対照表
(2026年 5月31日現在)

(単位：千円)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
【流動資産】	383,211	【流動負債】	367,877
現金及び預金	137,743	買掛金	45,903
売掛金	229,911	短期借入金	50,000
その他	15,556	未払金	56,585
【固定資産】	3,494	契約負債	154,250
【有形固定資産】	2,962	賞与引当金	18,750
工具、器具及び備品	7,688	その他	42,388
減価償却累計額	△4,726	負債合計	367,877
【無形固定資産】	532	純資産の部	
ソフトウェア	532	【株主資本】	18,828
		資本金	16,350
		資本剰余金	43,350
		資本準備金	13,350
		その他資本剰余金	30,000
		利益剰余金	△40,871
		その他利益剰余金	△40,871
		繰越利益剰余金	△40,871
		純資産合計	18,828
資産合計	386,705	負債及び純資産合計	386,705

(注1) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(注2) 当期純利益 28,501 千円

個別注記表

1. 重要な会計方針に関する注記

(1) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

定率法を採用しています。なお、取得価額10万円以上20万円未満の資産については一括償却資産として3年平均償却する償却方法を採用しております。

主な耐用年数は次のとおりです。

工具、器具及び備品 2～10年

② 無形固定資産

定額法を採用しています。

償却期間は次のとおりです。

ソフトウェア（自社利用分） 3～5年（社内における利用可能期間）

(2) 引当金の計上基準

賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき当事業年度に見合う分を計上しております。

(3) 収益及び費用の計上基準

① 企業の主要な事業における主な履行義務の内容

当社の主要な事業は、上場企業等に対するIR支援サービス（決算ログ書き起こし、英文開示、IRセミナー、IR Live配信等）の提供であり、これらのサービスの提供が主な履行義務となっております。

② 企業が当該履行義務を充足する通常の時点（収益を認識する通常の時点）

決算ログ書き起こし及び英文開示については、記事又は開示書類を顧客に納品した時点で履行義務が充足されるものとして収益を認識しております。IRセミナーについては記事の納品時点で、IR Liveについては契約期間にわたって履行義務が充足されるものとして収益を認識しております。なお、費用は原則として発生主義により計上しております。

2. 表示方法の変更に関する注記

（貸借対照表）

前事業年度まで独立掲記しておりました流動資産の「前払費用」（当事業年度11,526千円）および「未収入金」（当事業年度4,030千円）は、金額的重要性が低下したため、当事業年度より「その他」に含めて表示することといたしました。

前事業年度まで独立掲記しておりました流動負債の「未払費用」（当事業年度98千円）および「未払法人税等」（当事業年度100千円）、「預り金」（当事業年度19,071千円）、「未払消費税等」（当事業年度21,242千円）は、金額的重要性が低下したため、当事業年度より「その他」に含めて表示することといたしました。

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

当該事業年度の末日における発行済株式の数

普通株式 375株

4. その他の注記

記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しています。